

藻場の創造とブルーカーボンに関するセミナー

豊かな生態系を育み、水産資源の増大に資することから、海のゆりかごとも言われる藻場。

近年、二酸化炭素(CO₂)の吸収源として注目されるブルーカーボンとしても、その重要性と社会的な関心が高まっています。

藻場の再生・保全による里海づくりで、

瀬戸内海を美しい里、豊かな海へ

開催
日時

令和 6 年 12 月 24 日 (火)

13:30 ~ 16:00 (開場 13:00)

会場

サンポートホール高松 6F 第61会議室

定員 100名 (どなたでも参加できます)

第1部 講演

藻場の再生とブルーカーボン生態系

堀 正和 氏

国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所
沿岸生態系暖流域グループ長

第2部 事例発表

多様な主体による藻場の保全・再生とブルーカーボン

重成 陽介 氏

阪南市未来創生部シティプロモーション推進課主幹

第3部 講演

藻場造成による海の中の森づくりとブルーカーボンへの貢献

末永 慶寛 氏

香川大学創造工学部長



13:30

開会挨拶

大林 圭司

環境省 中国四国地方環境事務所 四国事務所長

13:35

第1部 講演 藻場の再生とブルーカーボン生態系



堀 正和 氏

国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所
沿岸生態系暖流域グループ長

2003年北海道大学大学院水産科学研究科博士後期課程修了後、東京大学を経て2006年から水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所に勤務。現在は、横浜市にある水産資源研究所において、沿岸浅海域の藻場を中心にブルーカーボンや生物多様性、気候変動対策等に関する研究を展開。水産分野における関連の政策対応、社会実装等の応用分野まで幅広く対応。ジャパンプルーエコノミー技術研究組合顧問としてブルーカーボンの社会実装にも参画。2021年から東京海洋大学大学院海洋生命資源科学専攻客員教授。

14:25

第2部 事例発表 多様な主体による藻場の保全・再生とブルーカーボン



重成 陽介 氏

阪南市未来創生部シティプロモーション推進課主幹

1985年4月に阪南町役場(現:阪南市役所)入庁。2017年4月から事業部副理事(兼)農林水産課長に就任し、「全国アマモサミット2018 in 阪南」の事務局を担当。2019年4月からこども未来部長。現在、未来創生部シティプロモーション推進課で里山里海プロジェクトを担当。

14:50

休憩

15:00

第3部 講演 藻場造成による海の中の森づくりとブルーカーボンへの貢献



末永 慶寛 氏

香川大学創造工学部長

1993年日本大学大学院理工学研究科博士後期課程海洋建築工学専攻修了。東京大学海洋研究所を経て、1996年4月から国立大学法人香川大学に勤務し、2009年4月工学部教授、2019年10月から創造工学部学部長就任、2022年4月から香川大学大学院創発科学研究科研究科長を兼務。専門は水圏環境工学、水産工学、海洋工学で、人工魚礁開発などに取り組む。2007年度、2017年度、2019年度に科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞、2023年度に海洋立国推進功労者表彰内閣総理大臣賞を受賞。



お申込み・会場案内



■申込期限

令和6年12月18日(水)17時まで

■お申込みフォーム URL

<https://forms.gle/1GwyLt4iRWRnrbgp9>

- ・収集した個人情報は、厳重な管理のもと、本セミナーにのみ使用します。
- ・申込は先着順です。受付確認や開催前のお知らせなどはメールで送付します。メールの受信拒否などを設定している場合は、ドメイン「@gmail.com」からのメールが届くように設定しておいてください。



お申込みフォーム
二次元コード



- ・なるべく公共交通機関でお越しください。
- ・お車でお越しの方は、地下有料駐車場や最寄りの有料駐車場をご利用ください。